

# 一般社団法人日本間脳下垂体腫瘍学会 定款施行細則

## 第1章 総則

(目的)

第1条 この細則は、一般社団法人日本間脳下垂体腫瘍学会（以下「本会」という。）定款の規定により、本会の運営のために必要な事項を定めるものとする。

## 第2章 会員

(任期)

第2条 正会員（社員）の任期は満65歳の学術集会までとする。

2 65歳で任期を満了した正会員は賛助会員となる。

(会費)

第3条 本会の会費は、年額を次のとおりとする。

- (1) 正会員 金 5,000円
- (2) 賛助会員 金 5,000円
- (3) 特別会員 金 0円
- (4) 名誉会員 金 0円

2 会員は、前項の会費を事業年度末日までに納入しなければならない。

(学術集会発表)

第4条 学術集会の発表は、会員または学術集会会長が認めたものに限る。

(学術集会会長の選出手順)

第5条 学術集会会長の選出を以下に定める。

- (1) 学術集会会長立候補者は現職の理事及び監事であり、かつ当該学術集会開催年度の4月において満65歳以下のものとする。
- (2) 学術集会会長立候補者は立候補届（様式2-1）、理事3名の推薦書（様式2-2）、所信表明や抱負（A4サイズ1枚、1000字程度、様式問わず）を日本間脳下垂体腫瘍学会会長候補選考委員会（学会事務局宛）に12月1日から12月末日（消印有効）までの間に郵送する。  
ただし、締め切り日までに立候補者がいない場合は、会長候補選考委員会で候補者を選定する。
- (3) 会長候補選考委員会は、理事長、前会長、現会長、次期会長で構成する。
- (4) 会長立候補者が複数名であった場合は理事長の定める理事会において会長候補選考委員会が会長立候補者を提示する。その後、参加理事により投票を行い、最も投票数の多い候補者を会長として選出する。候補者が1名のみの場合は、同理事会において過半数の承認を得ることとする。

(名誉会員・特別会員の選出)

第6条 名誉会員の推薦基準は次のとおりとし、理事の推薦により理事会の議を

経て総会で議決承認されたものとする。

- (1) 学術集会開催時に召集される理事会開催日に年齢が65歳以上であること
- (2) 会長経験があること

2 特別会員の推薦基準は、次のとおりとし、理事の推薦により理事会の議を経て総会で議決承認されたものとする。

- (1) 学術集会開催時に召集される理事会開催日に年齢が65歳以上であること
- (2) 役員経験があること

(入会日)

第7条 正会員および賛助会員の入会日は、入会申込書(様式1)を理事長が受理し、かつ当該年度会費納入が確認できた日とする。

(退会日)

第8条 会員の退会日は退会届(様式5)に記載されている年月日をもって退会日とする。

### 第3章 学術評議員

(選任等)

第9条 社員総会は、この細則により選出された学術評議員候補者に対して承認を与えることにより選任する。

2 選任する学術評議員の定数は、定款第38条で定めた50名以上100名以内とする。

3 学術評議員が満65歳となった場合は、その後最初に開催される社員総会の終結時に任期満了とする。

(学術評議員選出委員会)

第10条 本会に学術評議員候補者の選出を行うために、選出委員会を置く。

2 学術評議員選出委員会は、理事長、次期会長、会長、前会長の4名で構成する。

3 委員長は、委員の互選とする。

(新任候補者の選出)

第11条 新たに学術評議員となることを希望する者は、12月1日から12月末日(消印有効)までに、学術評議員立候補届(様式3-1)、履歴書(様式3-2)、間脳下垂体に関する業績書(様式3-3)、現職理事2名からの推薦書(様式3-4)を本会事務局に提出するものとする。

2 学術評議員選出委員会は、立候補者の業績及び学術評議員の定数等を勘案のうえ、候補者を決定する。

(任期)

第12条 学術評議員の任期は、本人からの辞退の申し出があった場合又は任期満了となるまでとする。

(選任手続き)

第13条 学術評議員選出委員会は学術評議員候補者を理事長に提出し、理事長はこれを理事会の承認を得たうえ社員総会に議案として提出する。

(学術評議員会)

第14条 学術評議員会は理事長が招集し、年一回、学術総会時に開催される理事会に引き続き開催する。

#### 第4章 役員の選出

(選任等)

第15条 社員総会は、この細則により選出された役員候補者に対して承認を与えることにより役員を選任する。

2 役員候補者は選任の行われる社員総会開催日において65歳未満の学術評議員から選出する。

(理事候補者の選出方法)

第16条 理事候補者は選出方法により次のとおり区分する。

(1) 推薦理事候補者 再任理事を含め、理事長が候補者を推薦する。理事未経験者の推薦は3名以内とする。

(2) 選挙理事候補者 推薦理事候補者と合わせて定款第22条に定める20名以上35名以内となるように、理事会が学術評議員会に必要人数の理事候補者選出を依頼する。

2 選挙理事立候補者は、12月1日から12月末日(消印有効)までに、立候補届(様式6-1)、履歴書(様式6-2)、間脳下垂体に関する業績書(様式6-3)、現職理事2名からの推薦書(様式6-4)を本会事務局に提出するものとする。

3 選挙理事候補者は、学術評議員による理事候補者選出の選挙により選出する。

(選挙理事候補者選出選挙事務)

第17条 選挙理事候補者選出選挙にかかる事務は、本会の事務局が行う。

2 選出選挙は学術評議員会で行い、開票は理事長が指名した学術評議員2名の立会いのもと行う。

(監事候補者の選出)

第18条 監事候補者は、理事長の推薦により選出する。

(理事長の選出方法)

第19条 理事長立候補者は立候補届(様式4-1)、理事3名の推薦書(様式4-2)、所信表明や抱負(A4サイズ1枚、1,000字程度、様式問わず)を12月1日から12月末日(消印有効)までに本会事務局に提出する。ただし、現理事長、副理事長は推薦人となれない。理事長立候補に関する書類の送付にあたっては封筒に

『一般社団法人日本間脳下垂体腫瘍学会理事長立候補関連書類在中』と朱書きする。

2 提出された所信表明（抱負）は、事前に事務局から各理事に、選出の際の参考資料と書いて郵送あるいは電子媒体にて配布する。

3 理事会は、候補者の中から理事長1名を選出する。

4 理事長の任期は一期2年、連続3期までとする。

（副理事長の選出方法）

第20条 副理事長は理事長が推薦し、理事会にて選出する。

## 第5章 委員会

（役員任期延期について）

第21条 下記のいずれかに該当する理事は、理事会の決議と総会の承認を経て、任期を一期（2年）延長することができる。なお、任期を終了した理事は学術評議員に移行する。

（1）運営委員（各委員会委員長）

（2）学会長選出者

（委員会）

第22条 本会は、その業務を行うため必要とする委員会を、理事会の決議を経て、置くことができる。

2 各委員会の委員及び委員長は、理事会の決議を経て理事長が委嘱する。

## 第6章 雑則

（細則の変更）

第23条 この細則は、理事会の決議により変更することができる。ただし、第3条に規定する会費の金額の変更については、社員総会の承認がなければその効力を有しない。

第24条 学会運営に必要な細則のうち恒常的細則については理事会により細則変更をもって運用する。ただし、臨時的あるいは緊急的に必要な運用細則については理事会承認をもって承認されれば細則記載を省くことができる。

## 【 附 則 】

この定款施行細則は、2018年9月1日から施行する。

2 本細則は、2019年2月21日に改定し施行する。

3 本細則は、2019年10月11日に改定し施行する。

4 本細則は、2020年11月14日に改定し施行する。

5 本細則は、2021年9月10日に改定し施行する。

6 本細則は、2023年3月3日に改定し施行する。